

発行所: 株式会社 帝国データバンク

神戸支店 〒650-0024 神戸市中央区海岸通3-1-13

TEL: 078-331-7024 (代)

姫路支店 〒670-8554 姫路市北条口2-7

TEL: 079-224-1492 (代)

福知山支店 〒620-0055 福知山市篠尾新町1-77-1

TEL: 0773-23-3875 (代)

鳥取支店 〒680-0846 鳥取市扇町115番地1

TEL: 0857-23-5231 (代)

大阪支社 〒550-8691 大阪市西区靱本町1-6-18

TEL: 06-6443-5601 (大代表)

(本社) 〒107-8680 東京都港区南青山2-5-20

TEL: 03-5775-3000 (大代表) URL: <http://www.tdb.co.jp/>

購読料: 1年間50,000円(本体価格) 複写転載厳禁 ©TEIKOKU DATABANK, LTD.

TDB TEIKOKU NEWS weekly

最新ニュースはここにアクセス

<http://www.tdb-news.com/>

週刊 帝国ニュース 兵庫県版

NO.1224 2017

7/24
mon.

CONTENTS

03- 話題企業の真相を追う scope&focus

みんなのクレジット

行政処分を乗り越えられるか

04- バイブル 変革者の決断

姫建機材株式会社 代表取締役社長 井上 学 氏

07- そうだ、博物館へ行こう!

UCCコーヒー博物館

08- 入札結果報告 兵庫県 発注工事

09- Topics

波紋呼んだタカター一般債権者への弁済方針

10- 倒産用語講座2017

第4回 手形の基礎知識(2)

12- 新設会社紹介

14- 最新調査レポート通信

16- 女性アナウンサーに聞く 第10回

中京テレビ 恩田 千佐子さん

18- 倒産・動向記事

(株)カームハウジング [内装工事] (兵庫)

(有)播磨電業社 [電気配線工事] (兵庫)

(有)タケダ企画 [婦人服販売] (兵庫)

(株)吉年 [鋳鉄製品製造] (大阪)

(株)甲田建設 [土木建築工事] (大阪)

(株)マルホ [食品スーパー経営] (大阪)

本多商事(株) [かばん・袋物販売] (東京)

Joycook Japan(株) [調理器具販売] (東京)

ベル産業(株) [化粧品製造] (神奈川)

(株)マイム鳥取 [羽毛布団リフォーム] (鳥取)

21- 全国の倒産ダイジェスト
全国の債権者名簿入手状況

22- 神戸商工会議所主催

みんなでチャレンジ! 神戸学検定

23- ジュンク堂書店 三宮店 ベストセラーズ

24- DATA FILE

26- 編集後記

ひまわりの丘公園(小野市)

バイブル

～変革者の決断～

姫建機材株式会社

代表取締役社長 井上 学 氏



井上 学 (いのうえ まなぶ) 氏

昭和52年大阪大学工学部電子工学科卒業後、ミノルタカメラ(株)〈現：コニカミノルタ(株)〉に入社、オートフォーカス一眼レフカメラ「α7000」の開発やデジタルカメラの企画開発責任者を経て、平成10年6月現職に。現業の傍ら前職の経験を生かし平成16年にはベトナムにて技術専門学校や機械・建築設計の現地法人を設立するなど事業を多角的に展開している。

会社経営は一筋縄ではいかないもの。危機に直面した時どう乗り切ったのか、事業の転換をどう成し得たのか、何を抛り所に経営しているのか、など、地元経営者の教訓・想いに迫ります。

第27回は精密機器メーカーの開発マネージャーから仮設機材レンタルに転じた異色の経歴を持つ姫建機材(株)の井上社長です。デジタルカメラの勃興期に最先端の研究開発で培った仕事のノウハウは、現業に転じた後でもさまざまな形で生きています。「できないことはない」とソフトに語る井上社長にお話を伺います。

■ 家業を継ぐことなど考えもしなかった学生時代……

父が建設機材の大手企業で姫路営業所長として勤務しており、姫路営業所での営業経験をもとに昭和50年に当社を設立しました。家庭では無口で、仕事ばかりの父とはほとんど会話した記憶もなく、将来会社を継ぐことなどは一切考えずに大阪大学工学部電子工学科に進学しました。

■ カメラの開発で培った「できないことはない」精神……

大学卒業時には家業を継ぐことなどは一切考えもしなかったもので、最先端の技術が結集され、これから電子制御の技術が必要とされるカメラ開発に携わりたいと考え、ミノルタカメラ(株)〈現：コニカミノルタ(株)〉に就職しました。入社当時はカメラにICチップを搭載して電子化によってカメラを制御する新技術に取り組んでおり、軍事用以外の民生機器でICチップが搭載されるのは非常に珍しいことでした。今ではオートフォーカスや手振れ補正機能がついたデジタルカメラが当たり前ですが、当時はフィルムカメラ全盛で、電子技術によってオートフォーカス機能などの新技術を開発するプロジェクトを行っていました。今では回路設計の計算ソフトなどコンピューター内で簡単に設計ができますが、当時は数十万円もする関数機能付きの電卓での手計算が普通で、理論上問題なければ量何量分もあるスペースに実際の電子回路を組み、正常に作動しているかをチェックするという、設計と実験の繰り返しで、まさにアナログな開発手法でした。しかし、電子の動きは法則が

あり、緻密な計算のうえで設計されたものは必ず実現できるとの考えから、「できないことはない」が信条となりました。

■ 父の急死により、突如会社を引き継ぐことに……………

ミノルタ時代は同期の中でもいち早く頭角を現し、プロジェクトマネージャーとして初のデジタルカメラの開発にも携わり、ニューヨーク駐在の内示を受けるなど、会社員人生としては順調だったと思います。しかし、父が首の骨を折る事故によって急死したことで私の運命は変わりました。私には兄がおりますが、兄は獣医の資格を有して動物病の研究に携わり、BSE問題などでは世界的にも知られている研究者で、会社を継ぐ意思は一切ありませんでしたし、企業経営には向いていない人だと思います。当時の従業員や取引銀行から会社を継ぐように懇願され、平成10年6月に当社代表に就任することになりました。ミノルタには事情を説明して数カ月はミノルタの社員として引き継ぎを行いながら、当社の代表も行うことになりました。

■ 代表就任後は基本の徹底から……………

就任後は社内の問題点を整理することからスタートしましたが、最初に取りかかったのは挨拶や整理整頓など、まさに基本的な部分でした。当時の従業員は挨拶もできない、電話対応も満足にできない、足場などを保管する機材センターは乱雑で作業場は野ざらし状態と、恥ずかしながら低レベルと言わざるを得ない状態でした。発声練習やマナー講習など、新入社員研修レベルの教育からスタートし、機材センターには屋根を設置して整理整頓から始めるなど、まさに基本の基本からの再スタートとなりました。平成14年には機材（足場）の整備・管理を行う専門会社〈株〉ハイリーコーポレーション〉を同業の経営者と共同出資で設立し、当社は営業に専念できる体制としました。大きな方針転換で業務もスリム化されると、今まで見えてこなかったムダが浮き彫りになり、ほとんど働いていない社員や役員は自然に退職して、社員も大幅に入れ替わりましたが、当時の当社を振り返ると、時には痛みの伴う手術が必要だったと改めて感じます。

■ 経営者の苦悩と試行錯誤……………

代表就任直後の1年間は比較的景気も良く、資金繰りに困ることなどはありませんでしたが、就任2～3年目以降は建設不況のあおりで大口の焦げ付きが発生するなど、資金ショートの危機もありました。サラリーマン時代は技術者でしたから、「経営」に関しては素人で、資金繰りの苦悩から脱するには売り上げが必要だと考え、鳥取に営業所を開設して売り上げが上がったと思ったら、機材（足場）への投資負担によってさらに資金繰りが忙しくなり、焦げ付きも発生するという悪循環を招いた時期もありました。その反省から、営業所を閉鎖するなど経営資源を集約し、無理な新規開拓を控えて既存のお客様との関係性を強化することで機材稼働率の安定化につなげる方針に転じ、経営も安定してきたと感じています。

■ 新たなチャレンジとベトナムビジネスとの出会い……………

現業の安定に力を注ぐ傍ら、代表就任時から、最初の3年で社内体制の整備・改革、次の3年で新規事業の種まき、そして次の3年で新規事業を成長させる。というビジョンを持って取り組んでいました。前職での人脈から、米国で3Dプリンターの開発を行う会社と提携して拡販を行うことも考えましたが、時代が早過ぎたのか失敗しました。また、前職での技術を生かして画像処理による機材（足場）の在庫管理にも取り組みましたが、費用対効果の点で頓挫するなど、いろいろなことにチャレンジしては失敗しました。

平成13年ごろでしょうか、自宅のある神戸の町内活動で知り合った社長仲間とベトナム旅行に行くことになり、孤児院などの施設を訪問することになりました。現地の孤児院の惨状を目の当たりにして、みんなで資金を出し合って障害孤児のための授産施設を建設することになりました。とはいえ、社長仲間が一番年下の私が担当者指名され、実務面はほぼ取り仕切ることになりました。土地の選定や建設業者との打ち合わせ、維持母体の設立準備などを行う際に、ベトナム政府の役人と接する機会も多く、当時に仲良くなった役人がベトナム共産党の重要人物に出世するなど、特にホーチミンでの人脈に恵まれました。

ベトナムで仲良くなった役人などから、ベトナムで何かビジネスをしてほしいとの相談も多くありました。当社では建設用足場の施工図などの図面も制作しており、それをベトナムで行うべく、平成17年に現地法人「CBSベトナム」を設立し、製図作業をスタートしました。CBSベトナムでは、ベトナムの最高学府の一つであるホーチミン工科大学と共同で建築専門学校も運営するなど、日本での当社よりもベトナムでの現地法人の企業ブランドが高いのはちょっとした自慢です（笑）。今では日本国内の大手企業より機械設計業務を受注していますし、ベトナム現地での工事請負を行って日本流の「カイゼン」を教育し、日本品質の施工ができる下請けの組織化に向けて取り組むなど、ベトナム事業が順調に育っています。

ただ、文化の違いにはいまだに戸惑うことも多く、最先端技術を習得するためにトレーニング用として1年前に購入した三次元CAD（日本国内でも導入企業は少ない）が一切使われていないなど、おおらかでのんびりした性格（国民性？）には困ることも多いです。平成10年に社長に就任した当時は、10年後の平成20年ごろには新規事業を軌道に乗せて経営の一線から退く予定でしたが、おおらかすぎるベトナムの社員に日本流の品質や責任感を植え付けるために、毎月必ず現地法人を訪問してアドレナリン全開で闘魂を注入しており、なかなか引退はできそうにありません（笑）。

ベトナムビジネスの話が長くなってしまいましたが、日本国内の姫建機材でも新しい展開を考えています。社員発案のアイデアコンテストを開催し、初回はフェンスバリアードの改良案が採用されました。また、足場の種類や長さ、使用量などはお客様によって言い方が異なるケースもありますので、お客様にとってもわかりやすいように写真付きで必要な商品・数量が選択でき、発注までできる携帯アプリを開発中で、お客様の利便性向上に向けた取り組みを強化しています。

■ 私一人から始めないと何もできません……………

会社員時代を含めて、プライベートでは頼まれたら断れない性格や好奇心旺盛な性格もあって、PTAの会長を引き受け、青少年育成協会の会長などで地域活動も行っていましたので、阪神・淡路大震災では数カ月会社を休んで避難所生活を送ったこともありました。何度かお断りしたものの、現在は保護司として犯罪者の更正支援活動にも携わっており、社会と広く関わりを持つことが自身の成長につながり、ベトナムビジネスのような出会いにもつながったのだと感じます。経営理念の「口癖」のひとつに、『私一人では何もできません。でも、私一人から始めないと何もできません』を掲げています。夢や目標、課題に向かって自ら行動を起こし、人に支えられ、支え合うことで「できないことはない」を実践できる会社組織でありたいと考えています。

会社概要

姫建機材(株) (企業コード: 540058448)

事業内容: 仮設機材レンタル

設立: 昭和50年6月

所在地: 姫路市別所町北宿1024

電話: 079-253-0551

URL: <http://www.kk-cbs.co.jp/>